

7 広報活動に関する事項

今日、大学は、単に認知度向上に留まることなく、大学が取り組んでいる事業や構成員の諸活動といった内容についての情報を積極的に発信していくことが求められる。そこで、プレスリリースの量的拡大などマスメディアを通じた情報発信の充実に取り組んできた。また大学による主体的な情報発信の場として大学ホームページによる情報発信の質的・量的充実を図った。このような取り組みにより、メディアに取り上げられる件数も増え、またホームページの情報量・アクセス数も増加している。

本年度においては、第4次長期計画重点課題の一つである「広報機能の充実」について、その具体化を図るべく鋭意検討を進めてきた。次年度以降は、これらの検討結果にもとづき、大学の発展に資するステークホルダーとのコミュニケーションを確立するための新たな大学広報を展開していく。

1) マスメディアの活用

平成17年度の広報活動の基本姿勢は、前年度に引き続き、戦略的広報展開をめざし、マスメディアを活用した広報活動を積極的に行なった。

マスメディア（新聞社・テレビ局）に対し、本学の取り組み等を日常的なプレスリリースで発信し、本学の露出度がよりアップするよう積極的な働きかけを行った。

また、プレスリリースによる情報開示に加え、ニュースソースの内容を判断して、計11回に及ぶ記者会見を開催した。以下に実施した会見を紹介するが、それぞれの情報が新聞紙面上に写真入りで大きく報じられたり、テレビニュースで紹介されたことから、一定の効果があったものと判断する。

- ① 5 / 2 (月) 格付投資情報センター (R & I) による格付け結果発表
- ② 5 / 2 (月) 新潟県山古志村復興支援「写真集」の刊行について
- ③ 5 / 31 (火) 国際文化学部10周年記念「ニヶ国語狂言」リハーサル開催
- ④ 7 / 28 (木) 経済学部「現代経済学科」「国際経済学科」の新2学科開設
- ⑤ 9 / 28 (水) 障がい者が働くカフェ開設に伴う社会福祉法人向陵会と契約書締結
- ⑥ 11 / 2 (水) 大学院経営学研究科が日中連携プログラムを開設
- ⑦ 11 / 9 (水) アフガニスタン学術調査隊が新仏教遺跡発見
- ⑧ 11 / 18 (金) 柳瀬明宏投手・ドラフト会議でソフトバンクホークスに6位指名
- ⑨ 1 / 18 (水) 「山越阿弥陀図・祇園精舎無常院」のミニチュア説明会
- ⑩ 2 / 8 (水) 法学部の学生が、情緒豊かな『木屋町』を取り戻すプランを提言
- ⑪ 2 / 10 (金) 「アフラシア平和開発研究センター」が国際シンポジウム開催

このような記者会見開催等の展開については、平成18年度以降も積極的に取り組んでいく。

2) ホームページの充実

大学ホームページ（以下、HP）のリニューアル後3年目に入ることを機に、従来からあるコンテンツの刷新を行うとともに、HPの視聴者ニーズとの適合性を判断するため、学外業者を活用したWebアクセス診断分析を実施した。この診断結果に鑑み、後期からHP視聴者のニーズに適合させたコンテンツとして、卒業生向けメールマガジンサービスや入学式・卒業式ライブ配信の実施、課外活動や学生生活全般を集約したキャンパスライフコンテンツの展開、学内外で活躍する本学学生を積極的に紹介していく

「龍谷人紹介」など、新たな取り組みを展開した。また、運用体制面においては、全学的なホームページの充実展開を図るべく、後期から業務委託によるコンテンツ作成更新体制を強化した。今後、平成18年度以降に予定される各学部HPのリニューアルなどを積極的に支援し、大学として包括的に均整の取れたHPの充実展開を図っていく。

3) 広報誌等の発行

広報関係発行物として、広報誌『龍谷』を2回、広報誌学内版『龍谷』を3回、本学の新聞掲載記事を綴った『龍谷大学ニューズレター』を2回発行した。

4) 広告の掲出

実施した主な大型広告として次の6点をあげることができる。

- 関西テレビ天気予報フィラーCM放映
8月～11月の4ヶ月間関西テレビの天気予報の枠で、本学のキャンパス風景をおさめた映像CMを放映した。
- 新幹線コンポの掲出
11月の1ヶ月間、新幹線の車内額面と主要駅に本学のポスターを掲出した。
- 『週刊文春』への記事広告の掲載
本学らしい様々な分野の学術研究活動の近況を紹介する記事広告を計12回掲載した。
- 第3回青春俳句大賞の結果発表に伴う新聞広告の掲出
1月15日、最優秀賞・優秀賞・入選作品を朝日新聞全国版(全15段)に掲出した。
- 大阪ドーム看板広告の掲出
平成17年4月1日から平成18年3月31日まで、カメラフェンス2ヶ所に親和会と共同して広告看板を掲出した。
- 経済学部新2学科の周知を図る広告展開
新聞広告を主体とし、申請段階から一連の広告掲出を積極的に行った。

5) 広報活動の一環としてのイベント開催

実施した主なイベントとしては、次の2点をあげることができる。

- 第3回青春俳句大賞の実施
今回は全国から83,803句(平成16年度は64,223句)の応募があり、選考委員による選考会を経て、3月26日に受賞者を招待した表彰式を開催すると同時に、受賞作品を中心に優秀な句を掲載した作品集も出版した。
- キャンパスツアーの実施
大宮学舎や西本願寺を巡るキャンパスツアーを計12回開催し、のべ304人の参加があった。

6) 広報展開方策検討委員会

大学の充実・発展を支える施策として「広報機能の充実」を図っていくために、その基本姿勢として「本学の発展に資するステークホルダーとのコミュニケーションの確立」をあげている。これを実現するための展開方策についての方向性を確認するとともに課題に対する取り組みを確定させた。